

# 国際共同研究事業 令和3(2021)年度実施報告書

令和 4 年 5 月 6 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

[日本側代表者所属機関・部局]

同志社大学・経済学部

[職・氏名]

教授・河島 伸子

[課題番号]

JPJSJRP 20211707

1. プログラム名 英国との国際共同研究プログラム(JRP-LEAD with UKRI)

2. 研究課題名

(和文) 持続可能な文化の将来:コロナウィルスと文化政策の再構築

(英文) Sustainable Cultural Futures: COVID-19 and Resetting Cultural Policy

3. 共同研究実施期間

令和 3 年 12 月 1 日 ~ 令和 6 年 11 月 30 日 ( 3 年 0 ヶ月)

4. 相手国側代表者(所属機関名・職名・氏名【全て英文】)

King's College London・Reader・Lee Hye-Kyung

## 5. 当該年度実施状況

- ・当該年度実施計画書の「当該年度実施計画の概要」の内容と対応させつつ、当該年度の実施状況を簡潔に記載してください。再委託又は共同実施を行った場合は、それぞれの実施状況がわかるように記載してください。
- ・当該年度又は前年度(複数年契約を締結し繰越を行った場合)の各費目における増減が研究経費総額の 50% (この額が 300 万円を超えない場合は 300 万円)に相当する額を超えた場合は、その理由と費目の内訳を変更しても計画の遂行に支障がないと考えた理由を記載してください。

- ① 本年度、英国側では 2022 年 2 月 1 日が開始日であるが、PI の下で研究にあたる最も重要なアシスタントと想定していた研究者が他大学に就職が決まり、急遽、この役割を果たせる研究者を新たに公募・選定することとなった。公募後、厳正な審査の元に新たに Steven Hadley が Postdoc Research Associate として採用された。その後、UK の PI と今後の研究につき詳細を詰めている。
- ② 今後の研究推進体制を協議の上固めつつある。既決事項としては各種ミーティング(両国の PI・全員・日本側および英国側各チーム等)を開催するにあたり、定期・不定期を含めた開催頻度や定期開催日程、報告事項等について基本的枠組みをつくる必要があると合意した。しかし、初年度はこれらがどの程度頻繁に開かれる必要があるかまだわからなかったため、両国 PI 間でのミーティングを随時開催した。さらに、両国全員のミーティングをオンラインで1回開催し、プロジェクトの概要、個別研究テーマ、今後の進め方について全員で確認した。
- ③ プロジェクト専用ウェブページ、SNSアカウントからの情報発信については、今後具体的な調査結果等がそろってから始めることとした。
- ④ 第1の研究テーマに関する文献サーベイを、両国でそれぞれ並行して開始した。
- ⑤ 前述の第1研究テーマに関するアンケート調査について、両国 PI の間で調査の目的、具体的質問等の検討を始めた。UK 側では、世界各国における既存の文化政策価値観調査をリスト化し、日本側では日本国内、特に地方自治体による同種のものリストを作成した。また UK 側で調査会社への調査委託に関わる学内手続きが複雑であるため、手続き面での連絡を取り合った。
- ⑥ 上記②から④に関して、また今後の研究全般につき、PI と主な若手研究者との間で打ち合わせをするため、京都から東京に日本側 PI が1回出張した。

7. 研究発表(当該年度において本共同研究の一環として本事業による支援を受けたことを明示して発表したものについて記載してください)

[雑誌論文] 計(1)件    うち査読付論文 計(1)件

| 通番 | 共著の有無 <sup>*1</sup> | 著者名、論文標題等 <sup>*2</sup>                                                        |
|----|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | なし                  | 河島伸子「日本の文化政策における『道具主義化』—文化財政策に関する近年の動向と国民の意識調査より」『青山総合文化政策学』21号、2022年3月、1-24頁。 |
| 2  |                     |                                                                                |
| 3  |                     |                                                                                |

[学会発表] 計(0)件    うち招待講演 計(0)件

| 通番 | 共著の有無 <sup>*1</sup> | 発表者名、発表標題等 <sup>*2</sup> |
|----|---------------------|--------------------------|
| 1  |                     |                          |
| 2  |                     |                          |

[図 書] 計(0)件

| 通番 | 共著の有無 <sup>*1</sup> | 著者名、著書名等 <sup>*2</sup> |
|----|---------------------|------------------------|
| 1  |                     |                        |

\*1 相手国側参加者との共著(共同発表)がある場合は○と記入。

\*2 当該発表等を同定するに十分な情報を記載すること。例えば学術論文の場合は、著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年(西暦)、最初と最後の頁、掲載論文の DOI、学会発表の場合は発表者名、発表標題、学会等名、発表年(西暦)、発表地(国名、国外開催の場合のみ)、図書の場合は著者名、著書名、出版社名、発行年(西暦)、総ページ数、ISBN、など(順番は入れ替わってもよい)。相手国側参加者との共著となる場合は、著者名が複数であっても省略せず、その氏名を記入し下線を付すこと。

\*3 足りない場合は適宜行を追加すること。

8. 本事業による産業財産権の出願・取得状況(当該年度に出願又は取得したもの)

[出 願] 計(0)件

| 通番 | 産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、出願年、国内・外国の別 |
|----|------------------------------------------|
| 1  |                                          |

[取 得] 計(0)件

| 通番 | 産業財産権の名称、発明者、権利者、産業財産権の種類、番号、取得年、国内・外国の別 |
|----|------------------------------------------|
| 2  |                                          |

\* 必要に応じて、欄を追加してください。